

基 調 講 演

テーマ：地震動予測のための地下構造探査とその活用について

講 師：鳥取大学工学部 准教授 野口 竜也



略 歴

- 1997年3月 鳥取大学工学部土木工学科卒業
- 2002年3月 鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程社会開発工学専攻修了
- 2003年4月 京都大学防災研究所地震予知研究センター研究員 (COE)
- 2004年6月 鳥取大学工学部土木工学科 助手
- 2007年4月 鳥取大学工学部土木工学科 助教
- 2018年4月 鳥取大学学術研究院工学系部門 助教
- 2021年6月 鳥取大学学術研究院工学系部門 准教授

研究活動・著書他

これまでの主な研究内容としては次の通り。

- 国内外での堆積平野や地震断層ごく近傍、地すべり地域での地下構造探査と地盤構造のモデル化
- 地理情報システム (GIS) による地下・地震情報のデータベース化とその利用
- 地震被害調査・地震観測の実施と解析, 地震動評価, 温泉観測の実施・解析

地下構造のモデル化は最も研究実績が多く、主として鳥取県、島根県、福井県を中心に国内外の堆積平野を対象としてきた。最近では断層近傍や地すべり地などに対象を広げている。地下構造探査データのデータベース化や普及のためのGISを利用している。地震被害調査、温泉観測も継続して研究を進めている。

講演概要等

地震災害リスク低減に向けた被害想定のために地震動予測を行う必要があるが、そのために地下構造の情報が必要不可欠である。この情報を得るために、微小な地動（常時微動）を計測する微動探査や重力のわずかな変化を計測する重力探査という地下構造を推定する物理探査法がある。これらの結果を組み合わせることで、正確な地下構造モデルを得ることが出来る。

本講演ではこれらの探査方法の解説と、山陰地方の都市部を中心にこれまで実施してきた事例を紹介する。また、独自に開発したWEBベースのGISを用いた探査結果のデータベース化と地震防災への活用について解説する。